

労働者の切り捨てを許さない!

クビを切られた元非正規労働者 おおつばき 大椿ゆうこを国政へ

# 愛と連帯

love & Solidarity

おおつばき  
大椿ゆうこの  
活動レポート  
2020.7.1

号外

社会新報

2020年夏季号外  
1951年12月7日第3種郵便物認可  
発行所  
社会民主党全国連合機関紙  
宣伝局 週刊(水曜日発行)  
〒104-0043 東京都中央区  
3-18-17マルキ樓本ビル5F  
電話代表 03(3553)3787・  
振替 00140-1-3203  
●定価185円 ●1ヵ月720円  
●送料168円

みなさん、こんにちは。この度、社民党の公認予定候補として、大阪9区(茨木市・箕面市・池田市・豊能町・能勢町)で活動を開始することになりました、“クビを切られた元非正規労働者”・大椿ゆうこです。

大阪9区は、2017年の衆議院選挙で、服部良一元衆議院議員が野党統一候補として立候補し、みなさまから多大なるご支援をいただいた選挙区です。その後を引き継ぐ形で、今回は大椿ゆうこが立候補を決意しました。

## おおつばき 大椿ゆうこの 新たな挑戦!!

新型コロナウイルスの感染拡大により、今、多くの労働者が雇い止め・解雇に追い込まれ、中小企業や個人事業主も倒産の危機に立たされています。

労働相談に応じていると、「どうやって生きていけばいいのか」と泣き崩れる声が電話口から聞こえてきます。非常時にこそ、社会的・経済的格差が浮き彫りになる。新自由主義を推し進めてきた結果が今、社会の脆弱さを露わにしています。

人の命や暮らしが後回しにされる今の政治。これが、私たちが望んでいた政治でしょうか?

「変わるのは私たち、変えるのも私たち」、このスローガンとともに、誰ひとり使い捨てられず、切り捨てられず、誰もが「ここで生きていいんだ」と思える社会を作るために、大椿ゆうこは次期衆議院選挙に挑戦します!

政治は私たちのもの。みなさんと一緒に、社会を変えるムーブメントを起こしたい!

ぜひ、大椿ゆうこと一緒に立ち上がってください。

## 次期衆議院選挙 大阪9区で 立候補を 決意!

おおつばき  
大椿ゆうこ プロフィール

1973年 岡山県高梁市生まれ。1996年 四国学院大学社会学部社会福祉学科卒。(社会福祉士 精神保健福祉士 保育士資格保持) 時代は就職氷河期、いくつもの非正規労働を経て、2010年 勤めていた関西学院大学を雇い止め解雇に。労組に加入し闘うが、職場復帰はかなわず。以後、労働運動に携わる。2016年 大阪教育合同労働組合執行委員長に就任。2019年 参議院選挙に全国比例代表として立候補するも、落選。2020年 社民党全国連合常任幹事に就任。全国連合労働・女性・多様性政策委員長。大阪9区国政政策委員長。

変わるのは私たち 変えるのも私たち

**緊急!**

**政府のコロナ対策失敗で、倒産・失業急増!  
労働者の切り捨てを許さない!!**

**雇止め・解雇の勢いが止まらない!**

5月末、総務省が4月の労働力調査を発表しました。明らかに変わったのは、パートやアルバイトなど非正規労働者の数が前年同月比97万人減という現実。これは、緊急事態宣言のもと休業要請が出され、事業者が雇用継続しきれないと判断したため。後から補償についての提示はされたものの、すでに休業手当を支給されることもなく97万人もの人々がクビを切られてしまった、と考えられます。

非正規労働者数の増減 単位:万人

	2019年4月	2020年4月	増減
統計	2116	2019	-97
非正規	666	640	-26
女性	1450	1379	-71

データ:[労働力調査](総務省統計局)をもとに作成

特に厳しいのが35〜44歳の女性。男女年代別で最大の28万人もの減少幅となっています。休業要請の影響を大きく受けたのが女性を多く雇用している飲食業・小売業でした。また、この世代はロスジェネレーションでもあり、苦勞してやっと手に入れた仕事为非正規雇用だった、という人がたくさんいます。バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、そして今回のコロナ。経済状況や社会状況に翻弄され続け、真っ先にクビを切られてしまうのが非正規労働者です。

**大企業の内部留保463兆円 今使わずしていつ使う**

リーマンショックの時は、製造業を中心に影響が大きく、多くの男性非正規労働者が失業したことが社会に衝撃を与えました。今回は、あらゆる業種に広範囲に打撃を与えており、とりわけ女性たちがその影響を強く受けています。非正規労働を拡大してきたはずが露わになっています。

2008年のリーマンショック以降、大企業は非常事態に備え、463兆円もの内部留保を積み上げてきました。その間、非正規労働は労働者全

体の約4割まで拡大、実質賃金は下がり続けています。コロナで人々が危機的な状況におかれている今こそ、**大企業は、内部留保を使う時!** 特に政府の手厚い支援を必要としているのは中小零細企業であり、非正規労働者や労基法が適用されないフリーランスの人々。倒産や収入ゼロで命の危機にさらされる人々が優先されるべきです。大企業優遇の政治から、働く人の権利が守られる政治へと舵を切りましょう!

**私たちの手で政治は変えられる**

この危機的状況のなか、自粛生活で情報に敏感になった人たちが政治に疑問を持ち、声を上げはじめています。そして、「声を上げることで政治を変えられた」という体験を積み重ねてきています。所得制限など、複雑な条件に該当する部の世帯に30万円だった特別定額給付金は、全ての人に10万円支給されることに。世帯主への一括振込という問題は残りましたが、住民票を動かさないDV被害者への給付も実現。

黒川検事総長の定年延長に伴う検察庁法改正案も、ネットでの反対の声がすごい勢いで広がり、強行採決を断念させることが出来ました。



生存のための  
コロナ対策ネット  
ワーク主催の「労働・  
生活ホットライン」で  
電話相談に応じる  
大橋ゆうこ

**大橋ゆうこ子の再スタートへ  
絶大なるご支援を!**

服部良一(社民党大阪府連顧問・元衆議院議員)



4月16日社民党全国連合にて、衆議院大阪9区で大橋ゆうこ子の公認が決定され、予定候補として活動をスタートさせることとなりました。コロナ対策で皆様へのご挨拶・ご報告が遅くなったこと、まずお詫び申しあげます。9区と言えば、前回2017年の衆院選で私が野党統一候補として闘ったところですから、文字通り、私の後継候補として闘ってくださるようになりました。私自身、しっかり支えてともに頑張っていく決意です。今まで私に頂いたご支援を、今後はぜひ大橋ゆうこ子により多くお願いします。立憲野党の総力を結集し、なんとしても安倍政権を退陣に追い込み、「平和・自由・平等・共生」の日本の新しい政治をとともに創りましょう! 闘いの準備のためにやることは一杯あります。今、事務所の設置やポスター・リーフレットの作成中です。ゼロからの出発です。皆様にはぜひとも財政的にもお支え下さい。温かいご支援をお待ちしております。どうかよろしくお願ひ致します。

**寄付でのご支援**

おおつばき  
**大橋ゆうこを  
熱烈応援しよう!**

振込先: 大橋ゆうこを推す会

近畿労働金庫 梅田支店  
普通 9260102  
労金口座へ入金された方は、メールで名前と住所をご連絡ください。

ゆうちょ銀行  
振替口座 00990-1-323842

Facebook  
アカウント:  
@OhtsubakiYuko888

Twitter  
アカウント:  
@ohtsubakiyuko

Instagram  
アカウント:  
@ohtsubaki.jp

公式HP  
アドレス:  
ohtsubaki.jp

連絡先  
大橋ゆうこ事務所 〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町13-17 FSビル202号室  
TEL:072-657-7426 FAX:072-657-7427  
社民党大阪府連合 〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋3-9-27 社民党大阪府連合内  
TEL:06-6351-7074 FAX:06-6351-4355  
mail:ohtsubaki.sdp@gmail.com